

平成24年度科学技術関係予算の重点化

第4期科学技術基本計画

(平成23年8月閣議決定)

- ・分野別から課題達成型への転換
- ・科学技術とイノベーションの一体的推進

重要課題の達成に向けた 平成24年度科学技術関係予算の重点化

科学技術重要施策アクションプラン

- ・最優先で取り組むべき課題を総合科学技術会議が概算要求前に設定
- ・関係府省による251件の提案から、課題の達成に向け最重点で進めるべき150施策を具体化

重点施策パッケージ

- ・各省が推進しようとする課題達成に向けた施策パッケージを概算要求後に提案
- ・科学技術政策担当大臣・有識者議員が重点化すべきパッケージを特定

最重要

重点

アクションプランで設定した政策課題

復興・再生並びに災害からの安全性向上

- 災害から命・健康を守る
- 災害から仕事を守り、創る
- 災害から住まいを守り、造る
- 災害からモノ、情報、エネルギーの流れを確保し、創る

グリーンイノベーション

- クリーンエネルギー供給の安定確保
- ・技術革新による再生可能エネルギーの飛躍的拡大
- 分散エネルギーシステムの拡充
- ・革新的なエネルギー創出・蓄積技術の研究開発
- ・エネルギーマネジメントのスマート化
- エネルギー利用の革新
- ・技術革新による消費エネルギーの飛躍的削減
- 社会インフラのグリーン化
- ・地域特性に応じた自然共生型のまちづくり

ライフイノベーション

- 先制医療(早期医療介入)の推進による発症率の低下
- がん、生活習慣病の合併症等の革新的な診断・治療法の開発による治癒率の向上等
- 身体・臓器機能の代替・補完
- 優れた医療技術の開発促進
- 介護・自立支援

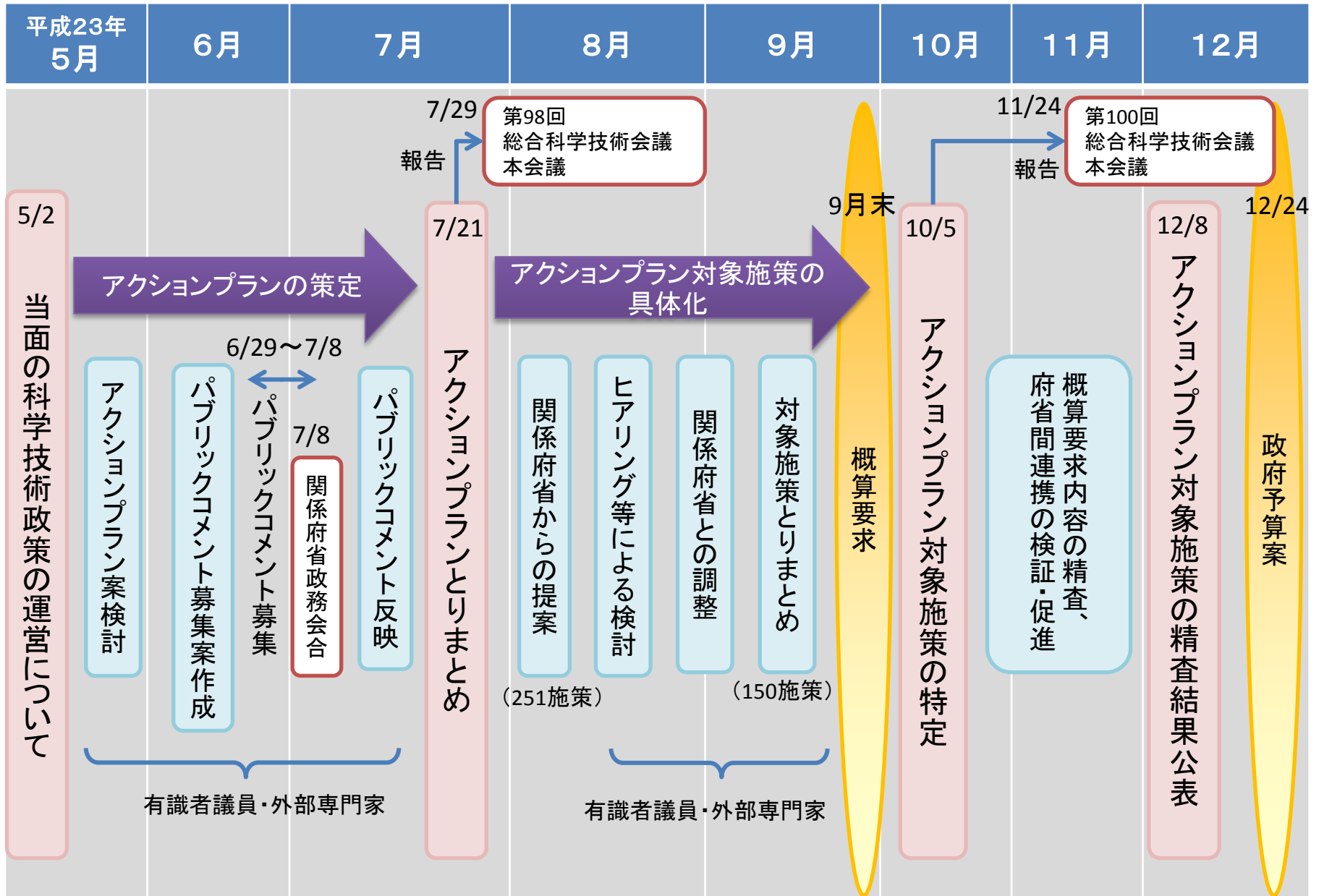
基礎研究の振興及び人材育成の強化

- 世界トップレベルの基礎研究の強化
- 独創的で多様な基礎研究の強化
- 科学技術を担う人材の育成

平成24年度
科学技術重要施策アクションプランについて

- アクションプランのねらいは、総合科学技術会議が最も重要と考える施策の方向性を概算要求前に示すことにより、府省間の壁を乗り越え、政府全体の科学技術関係予算の重点化を誘導すること。
- 第4期科学技術基本計画の特徴である「課題解決型」のイノベーションの推進を後押しするもの。
- アクションプラン対象施策は、総合科学技術会議が最も重要と考える「トッププライオリティ」の施策として位置付け。

平成24年度アクションプラン策定の経緯



4つの重点対象を設定

東日本大震災を
踏まえた新たな
柱として設定

復興・再生並びに 災害からの安全性向上

- 東日本大震災からの復興・再生を遂げ、地域住民がより安全に暮らせる社会の実現を目指す。
- 東北地域の復興・再生をモデルとして、より安全、かつ豊かで質の高い国民生活を実現する国を目指す。

我が国の現状を
踏まえて内容を
見直し

グリーンイノベーション

- 自然と共生し持続可能な環境・エネルギー先進国の実現を目指す。

ライフイノベーション

- 心身ともに健康で活力ある社会の実現を目指す。
- 高齢者・障がい者が自立できる社会の実現を目指す。

新たに追加

基礎研究の振興及び 人材育成の強化

- 世界共通の課題を克服し、豊かな国民生活を実現し、科学技術を文化として育み、多様な人材を育成確保する社会の実現を目指す。